農業振興

生産原価低減の推進は

研究し推進していく



朝倉（あさくら）　国勝（くにかつ）　議員

問　7年度の水田面積に対する稲作栽培面積は。

商工農林課長　水田面積209・15haに対し稲作栽培面積は111・13haで、約53・1％といった状況である。

問　7年度の転作品目と面積は。

商工農林課長　麦が18・89ha、野菜類12・97ha、飼料用米が1・85haである。

問　離農者が多く既存組織の維持が難しい。対策の考えは。

町長　交付金制度を活用し、外部団体や業者等への委託も可能であるので、集落や組織に対し周知していく。

問　新技術の普及による生産原価低減の推進は。

商工農林課長　新しい栽培方法や新技術の導入などにより生産性向上や効率化が図られ、コストが削減される。今後も関係機関や関係団体と連携する中で、取り組みを研究し推進していく。



地域を支える米作り

有害鳥獣対策について

問　緊急銃猟（じゅうりょう）の対応に向けたマニュアルの作成状況は。

商工農林課長　環境省から示された緊急銃猟に伴うガイドラインに従い、現在、マニュアル作成を進めており、県や警察、猟友会などと協議を行っている。完成後は連携手順を確認するための机上（きじょう）訓練や実地訓練を行う。

研修報告

令和8年度長野県町村議会議長会議員研修会

7月13日（月）松本市キッセイ文化ホールにて、長野県町村議会議長会主催による議員研修会が開催されました。

研修会には、長野県内の町村議員等が参加し、❶「地方財政の課題と議会に求められる役割」では、地域社会課題に対し何を残し何を見直すのか、優先順位と意思決定が求められ選択する議会へ❷「ハラスメントの根絶に向けて」では、議会は社会のハラスメント防止を促進する立場であり、起きない議会環境をつくる事が必要であると聴講しました。



令和8年度 町村議会広報研修会

8月28日（金）東京LINE CUBE SHIBUYA（渋谷公会堂）にて、全国町村議会議長会主催による研修会が開催されました。

研修会では❶住民と議会をつなぐ広報デザイン術～ねらいと効果～❷議会広報誌のビフォーアフター～紙面を見直す、効果的なテクニック～❸議会広報の取り組み～「読まれる」議会だよりを目指して～を聴講し、紙面の要素を洗い出しながらまちの空気を編集する考え方について学びました。住民と議会をつなぐ議会報を目指していきたい。

